

## 富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について

### 富浦地区学校再編検討委員会第7回会議（令和8年1月7日開催）

#### 概要

『保護者委員からアンケート結果の報告があった。富浦中学校・富山中学校の2校の統合について保護者の賛否が拮抗し、僅かに反対が多かった。保護者委員からは、これ以上の意見集約や保護者内での協議が困難との話があった。この状況を受け、富浦地区学校再編検討委員会としては、再編についての判断を保留することとした。

今後については、保護者アンケートの精査等行うことも含め、学校再編についての検討は続けていくとした。』

#### ◆富浦小・中PTAにおいて行った保護者の自由意見調査

##### 【主な賛成意見】

生徒数の増加により、友人関係の広がりや行事の活発化、また、地域を超えた交流が生まれ、色々な価値観や考え方に触れる機会が増えること、クラス替えや部活動も含め、子どもに良い影響があると考える意見。一人での登下校の場合、送迎があると登下校時の不安が解消されるとする意見。

##### 【主な反対意見】

通学距離、通学時間が増えることや、大雨、洪水などの警報時の通学経路に対する不安。2校で統合した場合、10年ほどで再び統合の話が出てしまうことからもっと広域で統合すべきなど、統合の枠組みに関する意見。

#### ◆委員（保護者委員以外）の意見

- ・再編していくことについては、時代の流れとして当然あるという意見も理解できる。反対の中にも、このまま小規模になって良いのかということは、考えている方が多いのではないか。再編という意味では考えていくべきではないか。
- ・賛成意見の、子どもの人数に関する保護者の意見（友人関係の広がりや行事の活発化、

地域を超えた交流が生まれ、色々な価値観や考え方に触れる機会が増えるなど)を、アンケート結果の極少数の差で黙認してよいのか。この内容は、子どもの成長、あるいは今後に物凄く大きな影響を与える要素ではないか。保護者の皆さんの色々な都合というのは重々分かるが、子どもたちの今後という事を第一に考えて、もう一度検討されたいかがか。

- ・学校の先生方の負担というのも、もう少し理解をしてあげたらどうか。ギリギリの人数で小学生、中学生を面倒見るのは物凄く大変だと思う。

#### ◆保護者委員の意見

- ・保護者としては保留とする形を取りたい。今後、保護者説明会を開いても、事前に行った自由意見調査書のままである。保護者から頂いた自由意見調査書を教育委員会でひとつひとつ精査してもらい、それをもとにして次の対策を練って、新たな提案をしてもらえれば有り難い。

#### (議長まとめ)

賛成の方もいる、反対の方もいる、富山地区検討委員会もある。そういう問題を考えると、取りやめて終わりにしますという事はなかなか発するわけにはいかない。保留という形で次回に伸ばしていく。次回というのは、新たな組織が立ち上がった時に、これまで経験し、議事録として残っている意見も全て活かしていく、という意味合いに捉えたい。PTAのとしたアンケートを精査していく機会を設けたい。